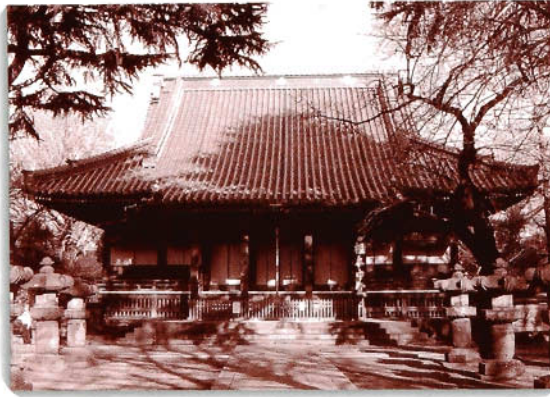


# 歴史書

1

2009  
No. 181



# 通信

徳川家定の将軍的資質をめぐって／大石 学  
歴史書新刊ニュース〈11・12月〉  
歴史書以外の人文社会図書新刊案内〈11・12月〉  
会員社刊行の2008年受賞図書  
日比谷図書館100年のあゆみ

歴史書懇話会

# 徳川家定の将軍的資質をめぐって

—時代考証と歴史学—

大石 学

(東京学芸大学教授)

2008年のNHK大河ドラマ「篤姫」は高視聴率を記録するとともに、さまざまな話題を呼んだ。時代考証を担当した私にも、放送中から種々の質問が寄せられた。とくに多かったのが、堺雅人が演じた13代将軍家定が、実際に将軍的資質を欠いていたかどうか（番組の表現でいうならば「うつけ」であったかどうか）という質問であった。

原作の宮尾登美子『天璋院篤姫』は、家定について「家来の前でも長時間の正座はできず、難しい政治向きの話になるとすぐ怒ったり悲しんだりする性癖では将来がこころもとないという印象を与え…」(講談社文庫版)と、将軍としての資質を欠く状況を記している。

他方、大河ドラマ「篤姫」(田淵久美子脚本)は、第22回「将軍の秘密」において、家定のせりふとして、「うつけのままではおられぬようになってしまうた」「これまで何度も毒を飲まされそうになった。もはや体はぼろぼろ、夜になると頭を上げるのもつらい。決して長くはないじゃろう」「だったら、うつけの真似でもなんでもやって、おのれの運命を笑ってやりたかった。わし一人を残し、将軍としたところで、この国はどうにもならぬ。それを天にわからせてやりたかったのじゃ!」と、家定は「うつけ」のふりをしており、

実は鋭敏明晰であったとしている。

では、実際はどうであったのか。

【将軍不適格説】 まず、家定の資質が将軍に不適格であったとする説を見てみよう。老中阿部正弘に関する史料を集めた『阿部正弘事蹟』は、「家定既ニ立チテ十三代将軍トナルト雖モ、羸弱暗愚ニシテ自ラ政務ノ衝ニ當リ難ク、且ツ前途甚ダ長カラザルガ如シ、是ニ於テ松平慶永夙ニ望ヲ慶喜ニ属シ、家慶ノ喪発表ノ日(嘉永6年7月22日)、府城中ニ於テ薩摩藩主島津斉彬ニ会シ、密ニ慶喜ヲ以テ徳川家ノ養嗣トナサンコトヲ説キ試ミシニ、斉彬ニ同意シ、共ニ尽力センコトヲ約セリ」と、家定を「羸弱(身体が弱いこと)暗愚」として政務を担うことができず、長生きも望めないのが、阿部が12代将軍家慶の発喪の日に江戸城中において薩摩藩主島津斉彬(篤姫の義父)と会い、密かに次の将軍を一橋慶喜にすることを申し入れたところ、斉彬も同意し協力することを約束したとする。

元水戸藩士の内藤耻叟は「そもそも当将軍襲職闇愚多疾、時艱を匡濟するに足らず……将軍は年既に三十余なれども児童の如く、常に鷲鳥を逐回して楽しみとせられ、又豆を烹て之を近親に賜ひ、西洋小銃を輸するに及んで其剣付筒を取りて近臣を追回しなどせら

れ、又疾ありて政をきくことあたはず、唯<sup>しつ</sup>廷中<sup>まつりごと</sup> 僅に儀容を失はざるのみ也と云へり」家定は実は世上にも伝へたる如く御芋の煮たも御存じなき愚人にて」（『安政紀事』幕末維新史料叢書／人物往来社）と、家定が30歳を過ぎたにもかかわらず、鷲鳥を追ったり、豆を煮たり、銃剣で家臣を追い回し、芋が煮えたのもわからない「關愚」「愚人」と述べている。

同じく元水戸藩士の小瀬光清は明治38年（1905）に行われたインタビューで、「菽<sup>しゆくばく</sup> 麥の弁じない」と、豆と麦の区別ができないほどであったと述べている（『史談会速記録』21、原書房）。

さらに、越前福井藩主の松平慶永（春嶽）の「逸事史補」にも、「我輩の敢て議する所にはあらざれども、こゝに一大事の秘密あり、いかんとなれば、前述せし如く、温恭公（家定）ハ凡庸中ノ極三等なり。こゝにて衆人の思ふところにては、かゝる天下多事の秋に当りて、かゝる将軍の凡庸にては、天下を維持する事あたはず、ゆへに、明将軍を立てん事を希望す。一橋慶喜の衆才を欽慕し、徳望も皆彼に属せり。予及伊達宗城、山内容堂等も、衆人と同じことに企望せり」（『幕末維新史料叢書4』）と、家定を「凡庸」「三等」とし、多難な時期の政治主導は無理として、賢明な一橋慶喜を将軍に推し、伊達、山内なども同意したという。

以上、家定の将軍不適格を主張したのは阿部、島津、水戸家、松平春嶽など一橋慶喜を次期将軍に推薦する一橋派の者たちであった。

**【将軍適格説】** これに対し、家定の資質が将軍に適格であったとする説もあ

る。たとえば、大奥でお次を勤めた佐々木鎮子は、家定について「左様。御彌癖がございました。しかし、余り困るようなことはございませぬ。ただお首を振る癖がおりになりました……慎徳院様（家慶）御不例の時には、西の丸から日々お出ましになりました、御看護あそばしたのでございます」（『旧事諮問録』青蛙房）と、彌癖持ちであったが、それほど困ることはなく、父家慶の危篤のさいには、毎日西の丸から本丸に赴き看病したと述べている。

また元幕臣の勝海舟は、「家定将軍となり謹厚沈黙内思あれども外に発するを憚り、臣下に対する猶其意を尽さず。就中親藩大藩聯合して頻りに継続の事を将軍に言上するに際し、将軍の苦慮困迫実<sup>なほそのい</sup>に名状すべからず」（『追賛一話』幕末維新史料叢書2 水川清話・幕府始末・追賛一話）人物往来社）と、家定は慎みがあり思慮深い<sup>なほそのい</sup>が、意志を表明することを遠慮した。このため家臣との意志疎通が十分ではなく、親藩や大藩が共同して次期将軍について言上したため、家定の苦しみは大変なものであったと述べている。また勝は、「家定将軍沈思決断、鎮国ノ祖法維持スヘカラサルヲ看破シ、開国貿易ノ是ナルヲ思ヒ、閣老堀田正陸ニ命令、貿易ノ方法ヲ調査セシム」（『勝義邦外交余談』『鹿児島県史料・斉彬公史料』1）と、家定は開国を決断し、老中の堀田正陸に開国・貿易の方法を調べさせたとも記している。

同じく元幕臣の島田三郎は、「世には温恭公の事を種々に評せしも（暗愚にして菽麥を弁ぜずとの世評あり）左様にあらず、若し世評の如くならば継嗣

論の起りし時アレ迄に心を勞せられまじきに唯内氣にて沈黙せられし故に此評を受けられしと夫人の語られし由、此一話ハ道弘（平岡丹波守、側用取次）の一族平岡準蔵（目付）の家に天璋院夫人の來られし時親く物語られし所なり」（『続日本史籍協会叢書 開国始末』）と、世間は家定を暗愚というが、天璋院が旗本家を訪問したさい、もしそうならば後継者についてあれほど悩むことはなかった、家定は内気で寡黙だっただけと語ったことを記す。

さらに元彦根藩士の谷鉄臣は、聞き取りに答えて、藩主の井伊直弼は当初一橋慶喜を支持していたが、「將軍家定公か病氣に罹り後事を託せられたに依って直弼ハ全く將軍家定公の命を真摯に受けたことになりました」と、家定が病氣になったのち彼の意志を受け、紀州家茂を支持したと述べている。

これら大奥女中、天璋院、幕臣、彦根藩士ら、いわば紀州派は家定の資質は將軍に適していたとし、その意志により紀州家茂が14代將軍に選ばれたと主張しているのである。

【中間説】 以上の「適格説」と「非適格説」の他に、いわば第三の中間説がある。たとえば一橋派の旗本として活躍した朝比奈昌広は「温恭院様世間ニテハ暗愚ノ君ニテ甚 敷迄ニ諸書ニ散見スルモ、文化・文政・天保ノ頃ナレハ左迄世説モ請サセマジキ。諸大名ニテ薩摩（島津斉彬）、鍋島（斎正）、越前（松平慶永）、宇和島（伊達宗城）、土佐（山内豊信）等ノ人ハ格別、其余ノ国持大名ヲ評サンニ、恐ラク温廟ニ及サル者多カラン」（『続日本史籍協会叢書・徳川慶喜公伝』史料篇1）と、

世間でいうほどの暗愚ではなく、將軍になるのが文化～天保の頃（1804～44年）だったならばこのような酷評は受けなかった、島津斉彬らの名君は格別として、他の国持大名と比べると家定（温廟）に及ばぬ者も多いと述べる。

また、元一橋家家臣の洪沢栄一は、この朝比奈の言葉を引きながら、「公は普通の才徳ありて、物の道理も一通りは弁へ給ひたれば、中主の器にてはおはせしなり」と、家定は「非適格」ではなく中級の主君であるとし、「斯く思慮ある人にてましましければ、若し寛文より天明に至るの間に生れて將軍たらんか、又は嘉永・安政にても、外様・譜代の大名に生まれ合ひたらば、決して暗主の嘲を受けず、随分思慮分別ある藩主とも言はれ給ひつらんに、国家多事の時の將軍家と生まれて、汚名を蒙らせ給へるは、かへすがへすも不幸の將軍なりけり」（『徳川慶喜公伝1』東洋文庫／平凡社）と、寛文～天明（1661～1789年）の泰平の時代に將軍となるか、嘉永～安政（1848～60年）であっても、外様や譜代の大名であれば相応の評価を受けたはずで、国難の時の將軍であったために汚名を蒙った不幸な將軍と評している。

家定の実像については、今後研究を深めていく必要があるが、あるいはこの中間説が真実に近いのかもしれない。

\*

では、「非適格説」は、いかなる歴史的背景から出てきたものか。勝海舟は、「開国ノ令邦内ニ布カサルニ先タチ、一説興リ人心変遷説ヲナシテ云、今ノ將軍ハ不明暗愚大任ニ不堪ナリ、一橋殿

ハ賢明英智、是ヲ挙ケテ儲副<sup>ちよふく</sup>ニ立テ、諸政ニ望マシメサレハ、大事ナル期ナカラムト、此説邦内ニ普ク雷同シテ一時ヲ傾倒ス、此説ヤ親藩大侯伯ニ出テ、諸官有志大抵ニ傾ク、窃<sup>ひそか</sup>ニ其ヲ結ビ、終ニ頼リニ將軍<sup>せま</sup>ニ逼ル、或ハ京師ニ遊説シ、勅命ヲ以テ強圧セムトス」(「勝義邦外交余談」)と、日米通商条約を結ぼうとしたときに、今の將軍は不明暗愚で大任に堪えられない、賢明英知な一橋慶喜を儲副(代理、後見)としなければ、危機を乗り切れないという説が流布した。これが国内に広まり、大名たちはこの説を支持し、密かに党派を形成し將軍を圧迫し、京都でも遊説し詔勅をもって抑圧しようとしたと記している。

つまり「非適格説」は、一橋派による家定支持派(すなわち紀州派)圧迫のための「情報戦」の一環として流布されたといえるのである。

ただし、その前提として、来日外国人たちが、「將軍は単独では国の手綱を手中に収められず、老中六人と一緒に統治に当たっている」(ツェンペリー『江戸参府随記』新異国叢書／雄松堂出版)、「將軍は、主権者であり独裁君主と見なされてはいるが、その権力は名前に付随しているだけであり、実際の行動によるものではない」(フィッセル『日本風俗備考』東洋文庫／平凡社)、

「老中は將軍なしでは何事もできないし、將軍も老中なしでは何事も行ない得ない。そして將軍も老中も諸侯に謀らなければならない」(『ゴンチャーロフ日本渡航記』新異国叢書)、「大老は將軍自身よりも大きな権力をふるっていた」(カッテンディーケ『長崎海軍伝習所の日々』東洋文庫)、「將軍が君主として、または大君主として所有する権利を、すべて御老中が行使した」(ディキンズ『パークス伝』東洋文庫)、「高位を掌握する一握りの人物が国を統治し、將軍は有名無実化していた」(『ディアス・コバルビアス日本旅行記』新異国叢書)などと記すように、將軍の権限が大きく制約・形式化されていた実態を認識しておく必要がある。家定の資質が「非適格」であっても「適格」であっても、自らリーダーシップを取れる権力構造では、すでになかったのである。

なお、本稿は筆者著『時代考証の窓から一篤姫とその世界』(東京堂出版、2008年)第一章の要約である。詳細、あるいはドラマ「篤姫」の歴史環境などについては、同書を参照いただければ幸いである。

(表紙写真) 徳川家定と篤姫の墓所がある上野寛永寺(写真は根本中堂)

# 新刊ニュース

11・12月発行図書 \*発売は予定のものもあります

## 歴史一般

辞典／年表・地図／歴史学・補助学

### 東京の消えた地名辞典

竹内 誠編

四六判 380頁 予価2,940円 東京堂出版〔12月刊〕

明治初年から昭和40年頃まで存在し、今では使われなくなった東京23区内の消えた地名約1000について、その成り立ちから消滅までの変遷を解説する。 978-4-490-10748-7

### 地図から消えた地名

消滅した理由とその謎を探る  
今尾恵介著

四六判 240頁 1,890円 東京堂出版〔12月刊〕

平成の大合併をはじめ、市町村の合併・編入・分離・分割の歴史によって消えた伝統的な地名約200を取録し、その由来と消滅までの経緯を解説する。 978-4-490-20645-6

### 時代考証の窓から—「篤姫」の世界—

大石 学編

A 5判 200頁 2,415円 東京堂出版〔12月刊〕

NHK大河ドラマ「篤姫」の時代考証を担当した編者らが、ドラマの場面やセリフを再現しながら、その背景にある史実の世界を興味深く解説する。 978-4-490-20650-0

### 史林 第91巻 第6号

史学研究会（京都大学大学院文学研究科内）発行

A 5判 160頁 1,200円 東京堂出版〔11月刊〕

1916年、史学研究会の機関誌として創刊され、歴史学・地理学・考古学の総合学術誌として数々の論考を送り出してきた「史林」が待望の市販化！ 年6冊。 978-4-490-30648-4

### 雑学ことばの日本史

阿部 猛著

四六判 232頁 1,995円 同成社〔12月刊〕

事典や書物に出てくることばを、知っているか知らないかでは天と地ほどの相違がある。ことばにこだわり、語源・来歴を平易に解説。 978-4-88621-469-0

## 考古学

概論・通史／日本／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／その他

### 吉川氏城館跡—中世安芸の城と館—

日本の遺跡33  
小部 隆著

四六判 190頁 1,890円 同成社〔11月刊〕

広島山間部で良好に遺存していた吉川氏関連の遺構群発掘調査の成果から、豊臣大名として発展していく吉川氏を総合的に追究する。 978-4-88621-464-5

### 北斗遺跡—釧路湿原にのこる大集落跡—

日本の遺跡34  
松田 猛著

四六判 192頁 1,890円 同成社〔12月刊〕

釧路湿原国立公園の中にあり、旧石器からアイヌ期にわたる生活が営まれていた北斗遺跡を通史的に追い、北海道の集落跡の特性を究明。 978-4-88621-466-9

### 古墳文化の成立と社会

古代日本陵墓と古墳1  
今尾文昭著

A 5判 600頁 予価6,500円 青木書店〔12月刊〕

前方後円墳は、その統一性により強大な権力の象徴とされてきたが、本書では地域古墳の個別的特徴を分析し、古墳文化の多様性・階層関係の実像に迫る。978-4-250-20813-3

## 中国古代鉄器の研究

白 雲翔著

B 5 判 320頁 予価13,650円 同成社〔12月刊〕

製鉄の起源から秦漢時代の鉄器に至るまでを考古学的に追及し、その発展の歴史と東アジア世界全般に及ぶ文化的意義を明らかにする。 978-4-88621-467-6

## 大和・纏向遺跡 改訂新版

石野博信編

A 5 判 560頁 10,290円 学生社〔11月刊〕

邪馬台国時代の「都市」、大和・纏向遺跡とは？ 木製仮面、ベニバナ花粉等の最新調査結果を増補し、ヤマト王権発生の謎に迫る改訂新版。 978-4-311-30494-1

## 日本史

概論・通史／史料／古代／中世／近世／近代／現代／地方史

### イラストでみる 日本史博物館 第3巻

武具・神仏編  
香取良夫著・画

B 5 判 280頁 5,040円 柏書房〔11月刊〕

日本の歴史と文化、その本当のカタチと細部が、ひと目でよくわかる。線画による復元筆写と正確なキャプションによるビジュアル版考証イラスト図鑑。 978-4-7601-2715-3

### 蝦夷と東北戦争

戦争の日本史3  
鈴木拓也著

四六判 320頁 2,625円 吉川弘文館〔11月刊〕

古代国家が、蝦夷を武力で制圧した「征夷」。阿弓流為と坂上田村麻呂の戦いなど、幾多の戦乱を検証。蝦夷支配の真実を描き出す。 978-4-642-06313-5

### 東国の戦国合戦

戦争の日本史10  
市村高男著

四六判 340頁 2,625円 吉川弘文館〔12月刊〕

15世紀末の戦国動乱期、北条氏、越後上杉、武田氏が台頭する狭間で独自の地位を築いた、千葉・小田・佐竹氏ら関東武士団の合戦絵巻。 978-4-642-06320-3

### 人と動物の日本史 1

動物の考古学  
西本豊弘編

四六判 296頁 2,940円 吉川弘文館〔11月刊〕

縄文・弥生から近世までの日本人の動物観の移り変わりを、動物絵画など多彩な考古資料で描く。家畜と日本人との深い関わりにも迫る。 978-4-642-06275-6

### 邪馬台国と卑弥呼

直木孝次郎 古代を語る2  
直木孝次郎著

四六判 288頁 2,730円 吉川弘文館〔11月刊〕

邪馬台国はどこにあったのか、卑弥呼は女王としてどんな政治を行ない、生涯を送ったのか。倭国の誕生を再考し、改めて畿内説を提唱。 978-4-642-07883-2

### 神話と古事記・日本書紀

直木孝次郎 古代を語る3  
直木孝次郎著

四六判 292頁 2,730円 吉川弘文館〔12月刊〕

古事記・日本書紀はどのように成立し、どこが違うのか。ヤマタノオロチ・天孫降臨・神武天皇・日本武尊など、物語の虚構性を解く。 978-4-642-07884-9

### 人と動物の日本史 2

歴史のなかの動物たち  
中澤克昭編

四六判 280頁 2,940円 吉川弘文館〔12月刊〕

馬・牛・鶏・犬・鯨…。日本人と、暮らしに不可欠だった動物たちとの関係性を多面的に描き出し、新たな歴史叙述の可能性を模索する。 978-4-642-06276-3

### 「人のつながり」の中世

史学会シンポジウム叢書  
村井章介編

A 5 判 252頁 4,200円 山川出版社〔11月刊〕

中世の公家・武士・寺院社会の自他認識や秩序体制を「人のつながり」という視線で、集団を成立させている特徴を探り当てようとする論文集。 978-4-634-52356-2

## 写真集 近代皇族の記憶

山階宮家三代  
学習院大学史料館編  
A 4判 342頁 12,600円 吉川弘文館〔12月刊〕

明治維新の国事に奔走した、山階宮家の人々が撮影した800点におよぶ写真は、知られざる皇族の社会や日常生活をあざやかに映し出す。 978-4-642-03788-4

## 古代東国の石碑

日本史リブレット72  
前沢和之著  
A 5変型判 120頁 840円 山川出版社〔12月刊〕

「日本三古碑」を含む6基の石碑・石塔全体に通じる要素から、古代東国の歴史像解明への糸口を探る。 978-4-634-54684-4

## 古代日本海の漁撈民

ものが語る歴史17  
内田律雄著  
A 5判 285頁 5,040円 同成社〔12月刊〕

古代出雲地方を中心とする日本海の沿岸漁撈がどのように営まれたか、考古資料、文献史料、さらに民俗資料を駆使してその実態に迫る。 978-4-88621-465-2

## 日唐律令比較研究の新段階

史学会シンポジウム叢書  
大津 透編  
A 5判 296頁 4,200円 山川出版社〔11月刊〕

律令制研究の最前線から、その資料的 성격や、日本の律令制の特色・形成過程などについて、さまざまな視点で議論を行う。 978-4-634-52355-5

## 桓武と激動の長岡京時代

歴博フォーラム  
国立歴史民俗博物館編  
四六判 252頁 予価2,625円 山川出版社〔12月刊〕

桓武期の長岡京時代を、王権・遷都・都市・戦争などの視点から考える。第62回歴博フォーラム・講演会の記録集。 978-4-634-59011-3

## 中世王権と王朝儀礼

遠藤基郎著  
A 5判 448頁 7,980円 東京大学出版会〔11月刊〕

天皇・院のもと盛大に執り行われた饗宴や仏事などの多様な行事。その背後にうごめく王権、摂関家、寺院などの意図、思惑と王権の実像に迫る。 978-4-13-026218-7

## 長宗我部氏の検地と権力構造

平井上総著  
A 5判 388頁 10,500円 校倉書房〔11月刊〕

全域の地検帳が残存する長宗我部氏の検地の実施手法・機能を明らかにすることにより、先進・後進の評価が優先されがちな豊臣期の検地の実態を解明した。 978-4-7517-3990-7

## 戦国期の貨幣と経済

川戸貴史著  
A 5判 284頁 11,550円 吉川弘文館〔11月刊〕

さまざまな機能を持つ貨幣と中世の経済構造を、荘園領主経済、金・銀の流通、悪銭問題、戦国大名権力との関わりなどから解明する。 978-4-642-02880-6

## 中世後期細川氏の権力構造

古野 貢著  
A 5判 340頁 10,290円 吉川弘文館〔11月刊〕

15世紀中頃の政治構造の機軸である室町幕府一守護体制の変質の意義について、有力守護細川氏の権力構造を通説を批判しつつ解明する。 978-4-642-02881-3

## 中世の巨大地震

歴史文化ライブラリー264  
矢田俊文著  
四六判 222頁 1,785円 吉川弘文館〔12月刊〕

100年から150年のサイクルで日本を襲う巨大地震に、中世社会はどう立ち向かったか。その実態に迫り、現代社会に警鐘を鳴らす。 978-4-642-05664-9

## 幕藩制社会の成立

山口啓二著作集第2巻  
山口啓二著  
A 5判 441頁 10,500円 校倉書房〔11月刊〕

幕藩体制はどういう社会か、豊臣政権論、藩体制の成立、鉾山町と技術の社会史、評伝・梅津正景、ほか。 978-4-7517-4000-2



地域からみる近世史—東松山の歴史から

山口啓二著作集第4巻  
山口啓二著

A 5判 392頁 10,500円 校倉書房〔12月刊〕

徳川軍団を支える村むら（領地をあてがわれる徳川譜代衆、公儀とお百姓）、動き出す社会と村びとたち（物と土地と人の動き、村びとたちがとらえた神仏）など。

978—4—7517—4020—0

日本近世国家の諸相 Ⅲ

村井早苗・大森映子編

A 5判 296頁 7,560円 東京堂出版〔10月刊〕

本書は「幕藩権力の特質」「開発と街道」「幕末の諸相」の3章からなり、日本近世史における政治・社会の特質について、10氏の論考を収録する。

978—4—490—20648—7

高家前田家の総合的研究

近世官僚制とアーカイブス  
大石 学著

菊判 528頁 13,650円 東京堂出版〔11月刊〕

江戸幕府高家であった前田家に残る未公開資料の調査研究。生類憐みの令の実態を示す「家来ニ申付候覚」をはじめ、貴重な美術・文学資料を多数収録。

978—4—490—20647—0

近世日本海海運史の研究

北前船と抜荷  
深井甚三著

A 5判 400頁 9,975円 東京堂出版〔12月刊〕

北前船と抜荷輸送の実態について、廻船や廻船問屋、拠点となる湊、俵物・昆布・富山売薬などの流通商品に関する史料を丹念に読み込み解明した労作。

978—4—490—20655—5

災害と江戸時代

江戸遺跡研究会編

A 5判 244頁 5,880円 吉川弘文館〔12月刊〕

全国の近世遺跡の発掘事例から、近世都市遺跡の形成と災害との深いつながりを再発見。これからの近世考古学に一石を投じる注目の書。

978—4—642—03434—0

近世の死と政治文化

鳴物係止と穢  
中川 学著

A 5判 312頁 10,500円 吉川弘文館〔12月刊〕

将軍・天皇など為政者の死は、幕府・朝廷・藩や社会にどう影響したのか。死をめぐる政治文化の全体構造と近世的特質を解き明かす。

978—4—642—03435—7

品川弥二郎関係文書 第7巻

尚友倶楽部品川弥二郎関係文書編纂委員会編

A 5判 316頁 予価6,000円 山川出版社〔12月刊〕

日本の近代化の推進に尽力した明治の政治家、品川弥二郎宛に差し出された書簡集。前島密から山尾庸三まで収録。

978—4—634—51070—8

帝国日本の植民地支配と韓国鉄道

1892~1945

鄭在貞著 三橋広夫訳

A 5判 680頁 9,450円 明石書店〔11月刊〕

日本が敷設した鉄道を、朝鮮の人々は近代文明の象徴、差別・葛藤・対立を助長する民族矛盾の仕組として受け入れた。朝鮮鉄道の全体像を詳細に描く。

978—4—7503—2880—5

世界史

概論・通史／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／オセアニア

アラブ系譜体系の誕生と発展

山川歴史モノグラフィ16  
高野太輔著

A 5判 232頁 5,250円 山川出版社〔11月刊〕

西暦7～8世紀のアラブ社会に存在した系譜集団の実態を解明する。

978—4—634—67435—6

民主政アテナイの賄賂言説

山川歴史モノグラフィ17  
佐藤 昇著

A 5判 256頁 5,250円 山川出版社〔11月刊〕

民主政アテナイにいかなる「権力」が生じ、それに対して市民はどんな価値観を持っていたのか。「賄賂」を手がかりに、「民主政」の実像を照らし出す。

978—4—634—67436—3

## 賄賂とアテナイ民主政

ヒストリア28

橋場 弦著

B 6 変型判 192頁 1,575円 山川出版社〔11月刊〕

デモクラシーの故郷であるアテナイ民主政を舞台に、古代市民が賄賂の問題とどのように格闘したかを探る。

978—4—634—49199—1

## 図説 ロンドン塔と英国王室の九百年

出口保夫著

A 5 判 予価2,600円

柏書房〔12月刊〕

中世城郭の姿を今に留める倫敦塔。数々の悲劇の舞台ともなったその塔を、興味深いエピソードと、多くの図版で描いた王室絵巻。

978—4—7601—3325—7

## フィンランドの歴史

デイヴィッド・カービー著 百瀬宏、石野裕子監訳

四六判 464頁 5,040円

明石書店〔11月刊〕

ヨーロッパ北端の貧しい農業国が発言力のある自信に満ちた欧州国家として生まれ変わった道筋を辿る。

978—4—7503—2860—7

## スワヒリ都市の盛衰

世界史リフレット103

富永智津子著

A 5 変型判 96頁 765円 山川出版社〔12月刊〕

アラブ・インド商人たちとの交流にはじまり、ポルトガルによる略奪、そして列強による植民地化へとむかうことになったスワヒリ都市の歴史をたどる。

978—4—634—34941—4

## 近代都市とアソシエーション

世界史リフレット119

小関 隆著

A 5 変型判 96頁 765円 山川出版社〔12月刊〕

都市化の進んだ19世紀末イギリスの社会の変化を、労働者が余暇生活の場として求めた労働者クラブをとおして考える。

978—4—634—34957—5

## 文化史

文化史一般／政治・外交・経済／思想・宗教  
教育・科学／文学・美術・芸術／社会生活

## 東京大学総合図書館準漢籍目録

山本 仁編

A 5 判 350頁 12,600円

東京堂出版〔12月刊〕

本書は、東京大学総合図書館が所蔵する準漢籍（日本で刊行された漢籍）1500点について分類し、書誌的解説と請求番号を示した、至便な目録である。

978—4—490—20656—2

## 1945年の歴史

〈終戦〉をめぐる日中対話の試み

劉傑・川島真編

A 5 判 336頁 3,360円 東京大学出版会〔12月刊〕

1945年8月15日の敗戦を契機に日本人の大陸からの移動、日本にいた中国人・台湾人の移動の体験・経験が戦後の歴史認識にどのような影響を与えたのかを精緻に分析。

978—4—13—023056—8

## 日韓 歴史家の誕生

木畑洋一・車河淳編

四六判 240頁 2,520円 東京大学出版会〔11月刊〕

日韓それぞれを代表する13人の歴史家が、自らの歩んできた道のりと向き合ってきた学問について語った日韓歴史家会議の講演の軌跡。

978—4—13—023055—1

## 遣唐使と古代日本の対外政策

森 公章著

A 5 判 348頁 12,075円

吉川弘文館〔11月刊〕

古代日本の外交に重要な役割を果たした遣唐使。外交儀礼、留学生の活動、文化の移入などの全容を解明し、外交政策の全体像を描く。

978—4—642—02470—9

## 人物で読む現代日本外交史

近衛文麿から小泉純一郎まで

佐道明広・小宮一夫・服部龍二編

四六判 352頁 2,940円 吉川弘文館〔11月刊〕

人の個性が歴史を動かす。松岡洋右・重光葵・昭和天皇・佐藤栄作・田中角栄・中曾根康弘など、外交官・政治家20名の栄光と苦悩。

978—4—642—07998—3

## 人物で読む近代日本外交史

大久保利通から広田弘毅まで  
佐道明広・小宮一夫・服部龍二編  
四六判 328頁 2,940円 吉川弘文館〔12月刊〕

人の個性が歴史を動かす。伊藤博文・井上馨・陸奥宗光・小村寿太郎・後藤新平・原敬など、外交官・政治家19名の栄光と苦悩。

978-4-642-07997-6

## 中世の借金事情

歴史文化ライブラリー-265  
井原今朝男著  
四六判 240頁 1,785円 吉川弘文館〔12月刊〕

昔から法外な利子でも返済してきたのか？  
現代の常識を覆す、中世の借金システムを公開。中世債務史研究がわかるはじめての入門書。

978-4-642-05665-6

## 博仏の来た道

白鳳期仏教受容の様相  
後藤宗俊著  
A 5判 320頁 5,985円 思文閣出版〔11月刊〕

「博仏の来た道」から祈りの諸相と、その途上に浮かび上がる玄奘・道昭・法蓮などの僧の信仰と人間像に迫る。考古・美術史・文献史学など学際的に探る。978-4-7842-1433-4

## 今昔物語集を読む

歴史と古典  
小峯和明編  
四六判 304頁 2,940円 吉川弘文館〔11月刊〕

インド、中国、日本を舞台に一千話以上を収めた日本最大の説話集。芥川龍之介など、多くの作家を刺激した世界観とその魅力に迫る！

978-4-642-07156-7

## 平家物語を読む

歴史と古典  
川合 康編  
四六判 276頁 2,940円 吉川弘文館〔12月刊〕

平氏の栄華と滅亡を描く『平家物語』の、虚像と実像を解明。歴史研究と文学研究の最新の成果が織りなす、新しい『平家物語』の読み方。

978-4-642-07157-4

## 菱川師宣と浮世絵の黎明

浅野秀剛著  
A 5判 328頁 6,090円 東京大学出版会〔11月刊〕

錦絵誕生までの初期浮世絵を、師宣を中心に解明する先駆的研究。肉筆画や版画、春画についても詳細に分析。カラー口絵6頁、図版170枚。

978-4-13-080210-9

## 正倉院展六十回のあゆみ

奈良国立博物館編  
A 4判 288頁 3,150円 思文閣出版〔11月刊〕

各回の主な出陳宝物の図版や特徴・エピソード・出陳一覧と、各分野の研究者によるエッセイでとり、毎回の図録に付されている用語解説を集成。

978-4-7842-1440-2

## 続々日本仏教美術史研究

中野玄三著  
A 5判 812頁 17,850円 思文閣出版〔11月刊〕

仏教美術史研究3部作の最新刊。現役引退後も美術作品の調査研究を続ける中から生まれた論文を収録。50年に及ぶ中野美術史学の総決算ともいえる労作。978-4-7842-1415-0

## 日本〈工芸〉の近代

美術とデザインの母胎として シリーズ近代美術のゆくえ  
森 仁史著  
A 5判 274頁 4,410円 吉川弘文館〔12月刊〕

〈工芸〉は、明治以降、どのような変貌を遂げたのか？ 近代美術の中に工芸・デザインを位置づけ、未来をも展望する野心的試みの書。

978-4-642-03789-1

## かさねの作法

日本文化を読みかえる  
藤原成一著  
四六判 320頁 2,310円 法蔵館〔11月刊〕

逸脱した発想、行儀の悪い作法が日本文化を歪めて来た。かさねる、くずす、やつす、もじる、もどく、あそぶ、たむける、…「かさね」こそが日本文化の基本である。型破りの日本文化史。

978-4-8318-5642-5

## 日本の民俗 1

海と里  
安室 知・小島孝夫・野地恒有著  
四六判 272頁 3,150円 吉川弘文館〔11月刊〕

重なり合う海と陸の生活…。日本人はいかにして海の恵みを得てきたのか？ 生活や生業の技術をもとに、多様な姿を提示する。

978-4-642-07868-9

## 日本の民俗 2

山と川  
湯川洋司・福澤昭司・菅 豊著  
四六判 294頁 3,150円 吉川弘文館〔12月刊〕

山から川を経て海へ——。水の流れに沿って結ばれた、人々の生活とその価値を、暮らしの喜びや楽しみとともに鮮やかに描き出す。 978—4—642—07869—6

## 中近世の村落と水辺の環境史

景観・生業・資源管理  
佐野静代著  
A 5判 364頁 13,650円 吉川弘文館〔11月刊〕

干拓や埋立ての危機にさらされている日本の水辺。村の生業史、水辺のコモンズ等を検証。今後の水辺再生を考える新たな環境史の試み。 978—4—642—02879—0

## 季刊 東北学 第17号

東北芸術工科大学東北文化研究センター編  
A 5判 234頁 2,000円 柏書房〔11月刊〕

特集は在日という〈希望〉。我々はいかにして、東アジアの民族や国家、そこに生活する人々と繋がることのできるのか。在日という存在を通して考える。 978—4—7601—3487—8

## 民間芸能史

五来重著作集7巻  
山路興造担当  
A 5判 450頁 8,925円 法蔵館〔12月刊〕

永年全国各地を歩いて調査・収集した膨大な民間芸能の資料を分析し、文献で考証しながら、その歴史と実態を明らかにしていき、庶民信仰の本質と芸能の発生の原点を解明する。 978—4—8318—3413—3

## 伝 記

### 平城天皇

人物叢書256  
春名宏昭著  
四六判 296頁 2,100円 吉川弘文館〔12月刊〕

平安初期、官制改革や地方行政の掌握といった新政策を、在位3年間に矢継ぎ早に展開。生まれながらの天皇として国家を一身に担った生涯。 978—4—642—05249—8

### 只野真葛

人物叢書255  
関 民子著  
四六判 304頁 2,100円 吉川弘文館〔11月刊〕

女性の社会的自由が抑圧された時代一女の身でひとりかんがえ、江戸後期の社会を批判し、女性の闘争を宣言した“時代に早すぎた人”。 978—4—642—05248—1

## 地 理

### 古地図で歩く香川の歴史

井上正夫著  
B 5判 112頁 2,310円 同成社〔12月刊〕

香川県のいくつかの町の古地図を現地図と重ね合わせ、往時の状況を伝える絵画資料とともに、かつての町の姿を今によみがえらせる。 978—4—88621—450—8

雑誌

日本歴史 12月号 (第727) =11月刊  
1月号 (第728) =12月刊  
日本歴史学会編集

日本史専門の月刊誌として、また最も親しみやすい歴史知識の普及誌として、研究者から一般社会人まで、幅広い各層が購読。

一年間直接購読料8,300円〔送料込〕

◆各種割引制度有

二年間前払い16,000円〔送料込〕

三年間前払い23,500円〔送料込〕

A 5判 178頁 各780円 吉川弘文館〔11・12月刊〕

学生・院生 一年間5,000円〔送料込〕

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

歴史書以外の――

# 人文社会図書新刊案内

2008.11・12

## ――青木書店――

障がいのある子の就学・進学ガイドブック 渡部昭男著……………A 5判 予価2,100円 12月  
 新版 教育学をひらく 鈴木敏正著……………四六判 予価2,940円 12月

## ――明石書店――

貧困研究 vol.1 貧困研究会編……………B 5判 1,890円 10月  
 反貧困の学校 貧困をどう伝えるか、どう学ぶか 宇都宮健児、湯浅誠編……………四六判 1,575円 10月  
 イランのシーア派イスラーム学教科書 イラン高校国定宗教教科書 富田健次訳  
 ………………A 5判 4,200円 10月  
 神の国アメリカの論理 宗教右派によるイスラエル支援、中絶・同性結婚の否認 上坂昇著  
 ………………四六判 2,940円 10月  
 Q&A 少年非行を知るための基礎知識 村尾泰弘編著……………四六判 1,890円 10月

## ――大月書店――

コペルニクス オックス・フォード 科学の肖像(第11回配本)  
 オーウエン ギンガリッチ編集代表……………四六判 2,000円 11月  
 オルタナティブ・メディア 変革のための市民メディア入門 ミッチ・ウオルツ著  
 ………………四六判 2,800円 12月  
 格差とイデオロギー 碓井敏正著……………四六判 2,400円 12月

## ――思文閣出版――

源氏物語 千年のかがやき 国文学研究資料館編……………A 4判 1,995円 11月

## ――東京大学出版会――

死生学5 医と法をめぐる生死の境界 高橋都・一ノ瀬正樹編……………A 5判 2,940円 11月  
 政治空間の変容と政策革新4 政権交代と民主主義 高橋進・安井宏樹編  
 ………………A 5判 4,725円 11月  
 ミクロ経済学演習 奥野正寛編 猪野弘明・加藤晋・川森智彦・矢野智彦・山口和男著  
 ………………A 5判 2,100円 11月  
 企業金融とコーポレート・ガバナンス 情報と制度からのアプローチ 花崎正晴著  
 ………………A 5判 5,040円 11月  
 後発福祉国家論 比較のなかの韓国と東アジア 金成垣著……………A 5判 5,040円 11月  
 東大の教室で「赤毛のアン」を読む 英文学を遊ぶ9章 山本史郎著……………A 5判 2,520円 12月  
 死生学2 死と他界が照らす生 熊野純彦・下田正弘編……………A 5判 2,940円 12月  
 政治の美学 権力と表象 田中純著……………A 5判 5,250円 12月  
 福祉と正義 アマルティア・セン・後藤玲子著……………四六判 2,940円 12月

## \* 会員社刊行の2008年受賞図書 \*

### 〈第1回日本古典文学学術賞〉

『今様の時代 変容する宮廷芸能』 沖本幸子著 ……A 5判 7,980円 東京大学出版会  
主に若手研究者の優れた日本古典文学に関する論文・著書に贈られる賞。

### 〈第30回角川源義賞（歴史研究部門）〉

『オランダ風説書と近世日本』 松方冬子著 ……A 5判 7,560円 東京大学出版会  
日本史分野における優れた研究に贈られる賞。

### 〈2008年度アメリカ学会清水博賞〉

『〈アメリカ人〉の境界とラティーノ・エスニシティ 「非合法移民問題」の社会文化史』  
村田勝幸著 ……A 5判 6,090円 東京大学出版会  
アメリカ学会若手会員が最初に発表した成果の中から優れた作品に贈られる賞。

### 〈2007年度日本ドイツ学会奨励賞〉

『マックス・ヴェーバー ある西欧派ドイツ・ナショナリストの生涯』 今野元著  
……………A 5判 9,975円 東京大学出版会  
ドイツ語圏に関する将来性に富む優れた研究業績に贈られる賞。

### 〈2008年日本公共政策学会作品賞〉

『シリーズ国際関係論5 国際関係論の系譜』 猪口孝著  
……………四六判 2,625円 東京大学出版会  
日本の発展途上国研究の水準向上と研究奨励を目的に、途上国研究に関する優秀  
図書、論文に贈られる賞。

### 〈第20回アジア・太平洋賞大賞〉

『台湾の政治 中華民国台湾化の戦後史』 若林正文著  
……………A 5判 7,140円 東京大学出版会  
アジア太平洋地域に関する優れた研究を著した研究者に贈られる賞。

### 〈2008年日本公共政策学会著作賞〉

『行政学叢書3 自治制度』 金子利之著 ……四六判 2,730円 東京大学出版会  
長らく日本の政策の問題点とされてきた問題点について高い学問の水準を保ちな  
がら総合的に分析を加えたことが政策研究の発展に資するものと高く評価され贈  
られる賞。

### 〈第51回日経・経済図書文化賞〉

『生活保護の経済分析』 阿部彩・國枝繁樹・鈴木亘・林正義著  
……………A 5判 3,990円 東京大学出版会  
経済および経営・会計分野の学問、知識の向上に貢献するとともに、その一般普  
及・応用に寄与する図書に贈られる賞。

〈2007年度国際開発学会優秀賞〉

『貧困の民族誌 フィリピン・ダバオ市のサマの生活』 青山和佳著  
…………… A 5判 7,560円 東京大学出版会  
国際開発にかかわる諸問題に関する優れた研究成果に贈られる賞。

〈第2回政治経済学・経済史学会賞〉

『戦時経済と鉄道運営 「植民地」朝鮮から「分断」韓国への歴史的経路を探る』  
林采成著 …………… A 5判 12,600円 東京大学出版会  
政治経済学・経済史学研究に関する優れた研究で、その者の最初の体系的な研究業績に贈られる賞。

〈2007年度 JRA 賞馬事文化賞〉

『野生馬を追う ウマのフィールド・サイエンス』 木村李花子著  
…………… A 5判 2,940円 東京大学出版会  
日本中央競馬会（JRA）が文学・評論・美術・映画・音楽等などの文化活動を通じて、馬事文化の発展に顕著な功績のあった個人・団体に贈られる賞。

〈第28回日本都市学会賞奥井記念賞〉

『帝都復興と生活空間 関東大震災後の市街地形成の論理』 田中傑著  
…………… A 5判 10,290円 東京大学出版会  
都市に関する学術の進歩発展に貢献したと認められるものに対して贈られる賞。

〈第44回日本翻訳出版文化賞〉

『動物生理学 環境への適応 [原書第5版]』 クヌート・シュミット＝ニールセン著  
沼田英治・中嶋康裕監訳 …………… B 5判 14,700円 東京大学出版会  
過去一年でもっとも優れた翻訳書を出版した出版社に贈られる賞。

〈第44回日本翻訳出版文化賞〉

『中世歴史人類学試論』 ジャン・クロード・シュミット著、渡邊昌美訳  
…………… A 5判 7,350円 刀水書房  
日本翻訳家協会主催。「異文化間の相互理解と我国文化の向上に大きく貢献する優れた翻訳作品」を刊行したとされる出版社に贈られる。

〈第36回伊波普猷賞〉

『壺屋焼が語る琉球外史』 小田静夫著 …………… A 5判 4,725円 同成社  
沖縄研究の父と言われる伊波普猷の業績を顕彰し、沖縄の文化振興や学術発展に寄与した研究・著作に贈られる賞。

〈政治経済学・経済史学会賞〉

『近代土地制度と不動産経営』 森田貴子著 …………… A 5判 8,925円 塙書房  
政治経済学・経済史学の研究を奨励するために、特に優れた研究業績を発表した会員に授与される賞。



〈第12回建築史学会賞〉

『密教空間史論』 富島義幸著 …………… A 5判 9,975円 法蔵館  
 建築史学会が主催し、1983年から設けられたもので、建築史学の発展と水準の向上に寄与することを目的として、毎年、建築史学における優秀な個別業績に対し、贈られる賞です。

〈第25回日本文芸大賞・学術文芸賞〉

『仏教福祉のこころ』 新保哲著 …………… 四六判 2,520円 法蔵館  
 日本文芸振興会が主催し、1981年から設けられたもので、その年に最も注目された優れた文芸作品を対象に、ジャンル別にそれぞれ選考、授賞しているものです。

〈第26回京都府文化賞〉

『紫式部伝 ―その生涯と『源氏物語』』 角田文衛著 …………… A 5判 9,240円 法蔵館  
 受賞理由：考古学と文献学を統合した「古代学」を提唱。平安時代の研究に先駆的な役割を果たす。

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

# 雑学ことばの日本史

阿部 猛著 四六判・一九五〇円(予備)

事典や書物に書かれていることばについて知っているのと知らないのでは天と地ほどの違いがある。ことばにこだわり、語源・来歴を平易な言葉で解説する。

## 明治期日本の光と影

阿部 猛・田村貞雄編 A 5判・八〇〇〇円

明治期を中心とする近代日本の諸相を、政治・経済、軍事・外交、文化など多様なテーマを通して検証する。

## 近世瓦の研究

山崎信二著 B 5判・二六〇〇円

近世の寺院・城郭の瓦を、全都道府県にわたって網羅的に調査し詳細な分析を加えた、著者渾身の論考。

ものが語る歴史

## ⑰ 古代日本海の漁撈民

内田律雄著 A 5判・五〇〇〇円

## ⑱ 弥生時代の考古学

弥生時代の考古学 全九巻(第三回配本)

⑱ 弥生文化誕生 設楽・藤尾・松本編 B 5判・五五〇〇円(予備)

シリーズ日本の遺跡(最新刊)菊池徹夫・坂井秀弥企画・監修(四六判)

## ⑳ 原の辻遺跡

老岐に魅了する弥生の海の王都 宮崎貴夫著・八〇〇円

## ㉑ 吉川氏城館跡

中世安芸の城と館 小都隆著・六〇〇円

# 同成社

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-4-8 (価格は税込込み)  
 TEL03-3239-1467 FAX03-3239-1466 振替00140-0-20618  
<http://homepage3.nifty.com/douseisha> E-mail douseisha@nifty.com



## 日比谷図書館100年のあゆみ

都立図書館を考える会

都立日比谷図書館が千代田区に移管されることになり、今年度いっぱい一旦休館することが決まった。1908（明治41）年に開館して、ちょうど100年で大きな転換を迎えることになるわけだが、ここでその100年の歩みを振り返ってみたい。

1899年に図書館令が公布されて、京都を始めいくつかの府県立図書館が活動を始めていた。東京には帝国図書館のほかに私立の大橋図書館（博文館）と大日本教育会書籍館があり、活発な活動をしていたが、公立の図書館としては日比谷が第1号だった。その後東京市、東京都の中心館としての役割を果たして来たこと、東京都の図書館が規模の上でもサービスの上でも全国のトップの位置にあったことからいっても、公共図書館の歴史を考える上で日比谷図書館100年の重みは大きいといえるだろう。東京都の中心館としての役割は、1972年に都立中央図書館ができてそちらに移ったが、「中央図書館」という普遍的ではあるが平凡な、どこにでもある名前より日比谷図書館の名になじみを覚える人は多いようだ。霞ヶ関の中央官庁街に近い抜群のロケーションもあってビジネスマンの利用が多い。

開館時の日比谷図書館の蔵書の大きな特色は、児童へのサービスを実施したことと日英文庫と呼ばれる洋書が半数近くを占めていたことだろう。日英文庫は親日家ゴルドン夫人が、英国の文学や文化を知ってもらうため各地から善意の図書を集めて10万冊以上を寄贈したものである。開館当初はそのうちの2万5千冊程度が整理されていた。当時の教育界では児童の自由な読書は教育にとってむしろ有害であるという考え方があった。児童閲覧室運営は前例がなく、そのために、博文館で雑誌「少年世界」の編集をし、自宅を開放して少年文庫を開いていた竹貫直人を囑託として起用している。日英文庫のなかの児童用の絵本は非常に歓迎された。閲覧室の収容人数の10倍もの児童が来館したという。

100年の歴史の間に日比谷図書館は何度か大きな危機に瀕している。関東大震災では火災は免れたが壁が剥落し、危険な状態になった。日比谷公園内に屋外新聞縦覧所を設けて、情報提供につとめてもいる。建物は全体の損傷がひどく、全面改築の方針が決まったのは1934年のことである。しかし東京市の財政が窮乏していた上に、起債の認可が下りず、

改築計画は中止となった。38年には危険施設との指摘を受け、閉館が決まった。このことが報道されると市民の間から猛烈な反対の声が上がった。新聞への投書や利用者の閉鎖反対の組織が生まれるなど一種の文化的問題となり、応急的な補強工事を実施して閉館という事態は免れることができた。

第二次世界大戦では蔵書のほとんどを焼失する被害を受けた。日比谷図書館の歴史を語る上で、第二次世界大戦の末期に著名な学者らの蔵書を買上げ、疎開させて戦火から守ったことにふれないわけにはいかない。当時としては破格の500万円という予算で緊急に買い取りに動いた。疎開先の多摩に運ぶためには木炭自動車さえ使えず、荷車や、府立一中の生徒を動員してリュックをかついでの運搬という人海戦術だった。加賀豊三郎氏の江戸文化関係の大コレクションや井上哲次郎、諸橋轍次氏らの漢籍をはじめ、どれをとっても第一級のコレクションである。中には図書の引き取り中に空襲にあって焼失したもの、戦後に京橋図書館の地下書庫に保管中台風の被害にあったものなどもあり、買上げた図書の正確な冊数はわからないが、30万冊とも40万冊とも言われている。

戦後の復興は困難を極め、応急的に木造の仮設館ができたのは1949年のことである。それまで京橋図書館に仮事務所において疎開図書の引き取りや団体貸出、巡回文庫、フィルムライブラリーなどの活動を行って



「日比谷図書館／明治41年」

いた。仮設館は蔵書11万冊にすぎず、首都の中心図書館としては貧弱なものであった。地方自治法の施行にともない1950年4月には日比谷を除く都立図書館は区に移管されることとなった。

仮設館は手狭になり、消防署からは危険施設との指摘も受けていた。51年に国文学者・歌人の土岐善麿が館長に就任し、再建に向けて非常に大きな努力をした。現在ある日比谷図書館の三角形の建物は土岐館長の考案である。従来の敷地が公園の通路にはさまれた三角形なので、それをもっとも効果的に使うためにと三角形にしたのである。

しかし、図書館は受験生を中心とした閲覧席利用が多かった。冷房のある図書館を使うために行列を作る学生たちの姿が夏の一種の風物詩として、新聞に載った。それに甘んずることなく、参考調査、相互協力センター機能をめざして、図書館協議会に諮問し、「東京都の公共図書館総合計画についての提言」（1962年）がまとめられた。そして、新館建設へと向かっていくのである。実際に中央図書館が開館したのは1972年だから10年の準備期間を経ているわけである。新館は蔵書500万冊を前提に、

参考調査・相互協力センターとしての機能、日比谷図書館は都心地区にあって成人一般への図書資料の提供をおこない、一体的に運営することとし、今読んでも非常にすぐれたプロジェクトとすることができる。この提言をうけて新館建設を実現したのにはもう一人の大物文化人館長、フランス文学者杉捷夫の力が大きかった。

中央図書館が開館した後も児童資料は日比谷に残り、児童に関する参考調査・相互協力のセンターとして機能してきた。また、フィルムライブラリー・センターとして、映画会も定期的に行ってきた。

三角形のユニークな建物は、好立地ではあったが耐震強度に不安があり、雑誌を中心とした新たなサービスを展開するために建替え構想を検討していた。1991年に策定された東京都の長期計画にはこの構想も載っているが、バブルの崩壊、財政の悪化により大幅な変更を余儀なくされ、教育庁は1999年12月でサービスを終了すると発表した。このときも利用者の図書館存続運動が起こり、改築は見送られたが当面の改修設計費が措置され、廃館は免れた。しかし、資料費が大幅に削減されたため新刊書が少なくなり、魅力は下がった。

東京都の公立図書館全体を見ると1960年代から多摩地区の図書館を中心に貸出サービスに重点をおき、先進的なサービスを展開してきた。「貸出サービスは区市立に」との流れの中で、都が貸出を中心とした図書館を運営する必要はないという意見が教育庁中にはあったようだ。2002年に児童資料を都立多摩図書館に移したことで日比谷図書館の機能はさらに限定されたものとなった。千代田区への移管については曲折もあったようだが、今回の決定で旧東京市立図書館はすべて区立に移管されることになる。こうして振り返ってみると、日比谷図書館の歴史は決して平坦な道ではなかったとすることができる。

日本人は図書館を利用するより自分が持っている本を読むほうが多く、出版量に比して図書館が発達しなかったといわれている。この30年間に公共図書館は大幅に増えたが、そのサービス水準には大きな違いがある。図書館のない町村もあるし、蔵書数や職員構成も違う。さらに指定管理者制度の導入によって公立図書館の性格も変わってきた。

しかし、図書館が広汎な読書人口を支えてきたことは動かすことのできない事実だし、今後も変わりはないだろう。

世界は今、アメリカから発した経済大不況で多くの人々が失業し、苦しい生活を余儀なくされています。けれど、同じアメリカで史上初の黒人大統領が誕生しました。私たちはこの歴史的な大事件に立ち会う事が出来た事を喜びたいと思います。

さて、歴史書懇話会40周年を迎えた今年も残るところ20日余りになりました。年末から来年1月にかけて、全国の書店さんのご協力を戴き、40周年を記念する多くのフェアを開催致します。この記念フェアは来年も又続けてまいります。このような時代だからこそ歴史に知恵を求めて行きたいと思います。歴史書懇話会をよろしくお願い致します。

- 月代わりで「歴史書懇話会・今月のオススメ30冊」の連続ミニフェアを4書店で開催中（2006年7月から）です。年明けに「歴懇2008年の話題書30」をお目にかけます

◇TENDO 八文字屋（天童市）／◇東北学院大学土樋店（仙台市）／

◇紀伊國屋書店新潟店（新潟市）／◇今井書店グループセンター店（松江市）

話題の本、書評に取り上げられた本、受賞した本、今買わないと品切れになってしまう本、etc. を、その折々に各社が選んで提供しています。

- 東京堂書店本店「歴史書懇話会・国語国文学出版会 連続各社フェア」

第23回目「同成社全点フェア」（3階）12月～1月

歴史書懇話会と国語・国文学出版会の各社順番に連続フェアを開催中。1社2か月ずつ続きます。普通は書店で目にする事が無いような本まで、棚にギッシリと壮观です。

- 芳林堂書店高田馬場店「歴史書懇話会40周年記念フェア—2008年話題になった本」

12月中旬～2009年1月末

- 平安堂書店本店「歴史書懇話会40周年記念フェア—今年話題になった本」

12月初め～2009年1月10日

- フタバ図書 TERA 「歴史書懇話会40周年記念&

中国地方・瀬戸内の歴史を知ろう！フェア」12月22日～2009年1月25日

- 三省堂書店神保町本店「歴史書懇話会 2008歴史書をふりかえって」

12月中旬～2009年1月末

この“歴懇年末フェア”も毎年恒例になりました。どうぞ4階までお越し下さい！

- ジュンク堂書店新宿店で、昨秋から「これが歴史書だ！」フェアが続いています。

第12回目「戦後の昭和史と歴史認識」12月16日～2月28日

占領軍、民主主義、安保闘争、経済発展、歴史認識論争、等々を集めます。

- 紀伊國屋書店札幌本店「2008年刊行・人文社会科学書3000点フェア」

12月13日～1月11日

人文書専門の52社による大きなフェアです。歴史書懇話会も協賛します。

- ジュンク堂京都 BAL 店「2008年話題になった歴史書」・「残部僅少本」フェア

2009年1月2日～2月上旬

150点の歴史書が皆様の目に飛び込んできます！

- 東京大学生協書籍部本郷店「歴史書懇話会歳末・新春フェア」12月上旬～

- 広島大学生協北1 コープショップ「歴史書懇話会・歴史基本図書フェア」

11月4日～12月27日

.....  
新しい年が素晴らしい年になりますように。どうぞ皆様よいお年をお迎え下さい。

# 歴史書懇話会特設店

- |           |       |   |
|-----------|-------|---|
| 旭屋書店      | 札幌店   | 〒060-0005 札幌市中央区北5条西2-5<br>ステラブレイス5F<br>☎011-209-5181 |
| ジュンク堂書店   | 仙台店   | 〒980-0021 仙台市青葉区中央4-1-1<br>☎022-265-5656              |
| 岩瀬書店      | 富久山店  | 〒963-8051 郡山市富久山町八山田<br>字大森新田36-1<br>☎024-936-2220    |
| 煥乎堂       | 本店    | 〒371-0023 前橋市本町1-2-13<br>☎027-235-8111                |
| 須原屋       | 本店    | 〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2-3-20<br>☎048-822-5321           |
| 岩波ブックセンター | 信山社   | 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-3<br>☎03-3263-6601            |
| 東京堂書店     | 本店    | 〒101-0051 千代田区神田神保町1-17<br>☎03-3291-5181              |
| 芳林堂書店     | 高田馬場店 | 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場<br>1-26-5 F Iビル<br>☎03-3208-0241 |
| ジュンク堂書店   | 池袋本店  | 〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-15-5<br>☎03-5956-6111            |
| 有隣堂       | 本店    | 〒231-0045 横浜市中区伊勢佐木町1-4-1<br>☎045-261-1231            |
| Booksなかだ  | 本店    | 〒939-8212 富山市掛尾町180-1<br>☎076-492-1192                |
| うつのみや     | 柿木島本店 | 〒920-0962 金沢市広坂1-1-30<br>☎076-234-8111                |
| 平安堂       | 長野店   | 〒380-0825 長野市末広町1355-5<br>☎026-224-4550               |
| 精文館       | 書店    | 〒440-8517 豊橋市広小路1-6<br>☎0532-54-2345                  |
| ちくさ正文館    | 本店    | 〒464-0075 名古屋市中千種区内山3-28-1<br>☎052-741-1137           |
| ジュンク堂書店   | 京都店   | 〒600-8005 京都市下京区四条富小路角<br>☎075-252-0101               |
| 旭屋書店      | 本店    | 〒530-0057 大阪市北区曽根崎2-12-6<br>☎06-6313-1191             |
| ジュンク堂書店   | 大阪本店  | 〒530-0003 大阪市北区堂島1-6-20<br>堂島アバンザ1～3F                 |

ジュンク堂書店	難波店	☎06-4799-1090 〒542-0075 大阪市中央区難波千日前12-7 Y. E. S. N A M B Aビル
ジュンク堂書店	三宮店	☎06-6635-5330 〒650-0021 神戸市中央区三宮町1-6-18
フタバ図書	T E R A	☎078-392-1001 〒735-8588 広島県安芸郡府中町大須2-1-1 ダイヤモンドシティ・ソレイユ
りーぶる	天神	☎082-561-0770 〒810-0001 福岡市中央区天神4-4-11 福岡ショッピングプラザ6F
ジュンク堂書店	福岡店	☎092-713-1001 〒810-0001 福岡市中央区天神1-10-13 天神 MMT ビル
		☎092-738-3322

2008年10月現在

### 歴史書懇話会ホームページ

<http://www.hozokan.co.jp/rekikon/>

### 歴史書懇話会会員社ホームページ

青木書店	<a href="http://www.aokishoten.co.jp/">http://www.aokishoten.co.jp/</a>
明石書店	<a href="http://www.akashi.co.jp/">http://www.akashi.co.jp/</a>
校倉書房	<a href="http://www.azekurashobo.com/">http://www.azekurashobo.com/</a>
大月書店	<a href="http://www.otsukishoten.co.jp/">http://www.otsukishoten.co.jp/</a>
学生社	<a href="http://www.gakusei.co.jp/">http://www.gakusei.co.jp/</a>
柏書房	<a href="http://www.kashiwashobo.co.jp/">http://www.kashiwashobo.co.jp/</a>
思文閣出版	<a href="http://www.shibunkaku.co.jp/">http://www.shibunkaku.co.jp/</a>
東京大学出版会	<a href="http://www.utp.or.jp/">http://www.utp.or.jp/</a>
東京堂出版	<a href="http://www.tokyodoshuppan.com/">http://www.tokyodoshuppan.com/</a>
刀水書房	<a href="http://www.tousuishobou.com/">http://www.tousuishobou.com/</a>
同成社	<a href="http://homepage3.nifty.com/douseisha/">http://homepage3.nifty.com/douseisha/</a>
塙書房	<a href="http://www.hanawashobo.co.jp/">http://www.hanawashobo.co.jp/</a>
法蔵館	<a href="http://www.hozokan.co.jp/">http://www.hozokan.co.jp/</a>
山川出版社	<a href="http://www.yamakawa.co.jp/">http://www.yamakawa.co.jp/</a>
吉川弘文館	<a href="http://www.yoshikawa-k.co.jp/">http://www.yoshikawa-k.co.jp/</a>

限りなく広がる知識の世界 辞典750点突破!

# 合本源氏物語事典

源氏の読解に必要な基礎知識を整理・集めた源氏物語研究に必須の大事典。待望の復刊!



B5判 二八八頁  
定価二六三〇円

# 浮世絵大事典

膨大な浮世絵の情報を一冊に簡便にまとめ、最新の研究成果を盛り込んだ初の大事典!



重版出来!  
B5判 七〇八頁  
定価二九四〇〇円

池田亀鑑編 源氏物語の本文の中から重要事項約三〇〇〇を、選び解説。項目内容は地名・人名・書名・邸宅名・宮中殿舎などの他当時の衣食住、年中行事なども網羅。作中人物解説や図録及び諸文献を体系的、歴史的に整理・集めた大著である。

本事典では浮世絵の絵師や作品・画題だけではなく、彫摺・様式・風俗・芸能など最新の研究成果を盛り込み、幅広く収録。絵師・画家については、江戸期から近現代まで網羅。執筆者1333名、総項目1093項目にも及ぶ。浮世絵の鑑賞、研究に最適な事典である。

## CD-ROM版●詳細内容見本進呈 くずし字解読用例辞典



山田梁治・柴山 守編 好評のロングセラーくずし字解読・用例両辞典の検索方法を同時に使える画期的な辞書ソフトである。調べたい文字をキーボード入力すると候補のくずし字が即座に一覧で表示される。価格二九四〇〇円

## CD-ROM版●詳細内容見本進呈 鎌倉遺文 古文书編全四十六巻



竹内理三・東京大学史料編纂所編 地域史・郷土史・東アジア史などあらゆる分野において実証的な中世史の研究に必須の根本史料を一枚のCD-ROMに収録。検索機能が充実。ウィンドウズ対応。価格九四五〇〇円

## オンデマンド版 戦国遺文 後北条氏編

杉山・下山編 一四九五―一五九〇年の五代氏直まで古文書四〇〇〇通を編年式に集めた。今回品切の巻数をオンデマンド版で刊行した。第一巻・第四巻定価一五七五〇円

## オンデマンド版 南北朝遺文

九州編(全七巻)及び中国 四国編(全六巻)の品切巻数を今回オンデマンド版で刊行した。品切巻数は九州編第四巻・第五巻 中国・四国編第二巻定価各一五七五〇円

## 近世国家の諸相Ⅲ



A5判 296頁

村井早苗・大森映子編 I・IIと同様に近世社会の政治・経済・社会の特質に関する十氏の論考を収録。定価一八四〇〇円 Ⅱ五七五円 Ⅲ七五六〇円

東京堂出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-17 (価格税込)  
電話03-3233-3741 FAX03-3233-3746  
http://www.tokyodoshuppan.com



21世紀の『世界史百科』を目指す！〔内容見本呈〕

# 世界史の鏡

樺山紘一編

このシリーズはいま歴史の現場にいる歴史家たちが、地域・国家・都市・情報環境の五つの切り口から語る新しい世界史です。20世紀の終幕まで見えなかった現在と、現在にいたる世界史文の新鮮な驚きに期待下さい。

各巻 四六並製 一六〇頁 ￥一六八〇

歴史家たちのユートピアへ 国際歴史学会議の百年  
樺山紘一著 〇巻 ★07年11月初回配本  
世界中から歴史家が集まって議論してきたこの百年、その苦悩と喜悅

ハイチの栄光と苦難 世界初の黒人共和国の行方  
浜忠雄著 地域6 ★07年12月第2回配本  
独立達成後二百年、最貧国の一つとして破滅に瀕しているのは何故か？

イタリヤ都市の諸相 都市は歴史を語る  
野口昌夫著 都市4 ★1月第3回配本  
歴史が層になって見えるイタリヤ都市！ 成り立ちから読み解く

本を読むデモクラシー “読者大衆”の出現  
宮下志朗著 情報3 ★3月末第4回配本  
庶民はいつ頃から本を読むようになったか？

ナイル 地域をつむぐ川  
加藤 博著 地域7 ★7月第5回配本  
人種と民族のつばに暮らす人々が紡ぎ出す川と砂漠の世界

イブラヒム、日本への旅 ロシア・オスマン帝国・日本  
小松久男著 地域10 ★10月第6回配本  
イスラーム世界と明治日本を結んだ、ロシア生れのトルコ人の足跡

中国明末のメデリア革命 ロシア・オスマン帝国・日本  
大木康著 情報4 ★09年1月末7回配本  
17世紀中国で絵入り小説『三国志演義』西遊記…が大流行

以後、毎月刊行予定

## 2007年末から2008年の刊行一覧

ゾロアスター教史 古代アリア  
青木健著 中世ペルシア  
四六上製 三〇〇頁 ￥二九四〇  
現代インド

不敗の農民運動家矢後嘉蔵 岩本由緒解題 北山柳子編  
A5箱 五二〇頁 ￥七三五〇

中国聚落史の研究 中村治兵衛著  
A5箱 四五〇頁 ￥一万五〇〇

宗教学必須用語22 M.C.テイラー編/奥山倫明監訳  
A5箱 六二四頁 ￥八四〇〇

“ヨーロッパ”とは何か？ 第二次大戦直後の連続講義から  
L.フューエル著/長谷川輝夫訳  
A5箱 四六六頁 ￥五九八五

世紀末ウィーンのユダヤ人 S.ペラー著/桑名映子訳  
A5上製 三九〇頁 ￥四九三五

王はいかに受け入れられたか 政治文化のイギリス史  
指昭博編  
A5上製 二二七頁 ￥三九九〇

ポーランドの貴族の町 農民解放前の都市と農村 ユダヤ人  
山田朋子著  
A5箱 三五〇頁 ￥七七八五

アーカイブズへの眼 記録の管理と保存の哲学  
大濱徹也著  
A5上製 二二二頁 ￥三三〇〇

歴史の風 史学会編  
四六上製 二九四頁 ￥二九四〇  
〔刀水歴史全書28〕

## 第44回日本翻訳出版文化賞受賞 中世歴史人類学試論

J.C.シュミット著/渡邊昌美訳  
A5箱 四五〇頁 ￥七三五〇  
アナール派第四世代の第一人者シュミットが過去20年の研究を世に問う。民衆への関心から「歴史人類学」を提唱する歴史家の軌跡！

【価格】は税込  
〒101-0065 千代田区西神田2-4-1  
東方学会本館

刀水書房

tel. 03-3261-6190 fax. 03-3261-2234  
http://www.toushisshobou.com

史学会シンポジウム叢書

A5判 各4200円

## 日唐律令比較研究の新段階

大津透 編

律令制研究の最前線から、天聖令の性格や日本の律令制の特色・形成などについて、多角的に議論する。

## 「人のつながり」の中世

村井章介 編

中世における主要な社会集団である公家・武士・寺院社会の自他認識や秩序体制を、「人のつながり」という視点で探る。

## 近刊 品川弥二郎関係文書 7

政治の秘事から地方産業の諸問題まで広範にわたる書簡集。前島密から山尾庸三まで。日本の近代化の過程を示す第一級の史料。  
1月刊行予定 予価6300円

正確な記述で定評ある山川の辞典！

## 日本史広辞典

B5変型判 2500頁(4万80000項目) 17000円

## 山川 日本史小辞典

新版

B6変型判 1120頁(91000項目) 2940円

## 山川 世界史小辞典

改訂新版

B6変型判 1072頁(94000項目) 2940円

## ■世界史リブレット■

各765円

### 103 スワヒリ都市の盛衰

富永智津子 著 交易によって栄えたスワヒリ都市。アラブ商人・インド商人たちとの交流からポルトガルによる略奪、そして列強による植民地化へとむかった歴史をたどる。

### 119 近代都市とアソシエイション

小関隆 著 都市化の進んだ19世紀末イギリス社会の変化を、労働者が余暇生活の場として求めた労働者クラブをとおして考える。

## ■日本史リブレット■

840円

### 72 古代東国の石碑

前沢和之 著

国内に現存する石碑・石塔18基のうち6基は東国が有する。これらを東国研究のための歴史資料として位置づけ、古代東国の歴史像解明への糸口を探る。

歴博フォーラム 国立歴史民俗博物館 編

## 桓武と激動の長岡京時代

桓武朝の長岡京時代を、王権・遷都・都市・戦争などの視点から考える。 予価26000円

山川出版社

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-13 税込  
電話 03-3293-8131 <http://www.yamakawa.co.jp>

戦争の日本史 全10巻

# 蝦夷と東北戦争

伊治公啓麻呂の乱や、阿弓流為と坂上田村麻呂の戦いなど、八世紀〜九世紀に至る幾多の戦乱を検証。東北戦争のすべてが今、明らかになる。

# 東国の戦国合戦

北条、上杉、武田だけでは、千載に及ぶ東国の戦国合戦の歴史を、結城、上野、宇都宮、小山、那須、結城、動乱期を生きた市村高忠著

# 中世の巨大地震

12月の新刊 矢田俊文著 1785円

264 マグニチュード8以上の地震が、中世社会を襲った！中世の人々は、巨大地震にどう立ち向かったのか。未曾有の被害の実態に迫り、現代社会に警鐘を鳴らす。265 「借りたものは返す」と利子はひたすら増殖する」という現代の常識、それと異なる独自の論理が中世にはあった。現代の常識を覆す中世の借金システムを公開！

歴史と古典 全10冊

# 今昔物語集を読む

交差する歴史と文学：藤原 橋本 治氏 小森和明編 2940円

# 平家物語を読む

紙巻繪巻の真の声 語行無常の響きあり！軍記物の最高傑作「平家物語」の虚像と史実を辿る。 川合 康雄 2940円

佐道明広・小宮 一夫 服部龍一編

# 人物で読む近代日本外交史

大久保利通から 広田弘毅まで

# 人物で読む現代日本外交史

近衛文麿から 小泉純一郎まで

日本外交の光と影！ 松岡洋石・重光葵・昭和天皇・吉田茂・佐藤栄作・田中角栄・中曽根康弘！その個性は国家の危機にどう立ち向かったか？

# 直木孝次郎 古代を語る

全14巻

# 邪馬台国と卑弥呼

邪馬台国はどこにあったのか。魏志倭人伝の詳細な分析から考古学の結果から、改めて説内説を提唱。 2730円

# 神話と古事記・日本書紀

神話と古事記・日本書紀の関係を、神話の虚構性を解く。 2730円

# 只野真葛

人物叢書 2100円

# 人と動物の日本史

全4巻 各940円

# 災害と江戸時代

江戸遷都研究会編 全国の様々な災害事例をとりあげ、近世都市道路の形成と災害との深いつながりを再発見。 5880円

# 日本の民俗

全13巻

# 海と里

安室 知 小島孝夫 野地恒有著 11月の新刊

# 山と川

12月の新刊



吉川弘文館



歴史手帳 2009年版

(価格は税込) 〒113-0033 東京都文京区本郷7-2-8 電話 03-3813-9151 代表

愛用されて半世紀。日記を兼ねた歴史小百科。 900円

# 歴史書懇話会

## 会員社名簿

- 青木書店 175-0092 板橋区赤塚8-12-12(板橋営業所)〈担当者・古川 浩〉  
TEL. 03-5997-4051 FAX. 03-5967-7691
- 明石書店 101-0021 千代田区外神田6-9-5 〈担当者・千葉陽介〉  
TEL. 03-5818-1171 FAX. 03-5818-1180
- 校倉書房 169-0051 新宿区西早稲田1-1-3 〈担当者・石田 亘〉  
TEL. 03-3203-4851 FAX. 03-3203-4854
- 大月書店 113-0033 文京区本郷2-11-9 〈担当者・大和定幸〉  
TEL. 03-3813-4651 FAX. 03-3813-4656
- 学生社 123-0864 足立区鹿浜3-27-14 〈担当者・林 義則〉  
TEL. 03-3857-3031 FAX. 03-3857-3037
- 柏書房 113-0021 文京区本駒込1-13-14 〈担当者・竹内茂善〉  
TEL. 03-3947-8251 FAX. 03-3947-8255
- 思文閣出版 606-8203 京都市左京区田中関町2-7 〈担当者・中江俊治〉  
TEL. 075-751-1781 FAX. 075-752-0723
- 東京大学出版会 113-8654 文京区本郷7-3-1 (東大構内) 〈担当者・角田光隆〉  
TEL. 03-3811-8814 FAX. 03-3812-6958
- 東京堂出版 101-0051 千代田区神田神保町1-17 〈担当者・馬場辰也〉  
TEL. 03-3233-3741 FAX. 03-3233-3746
- 刀水書房 101-0065 千代田区西神田2-4-1 〈担当者・中村文江〉  
TEL. 03-3261-6190 FAX. 03-3261-2234
- 同成社 102-0072 千代田区飯田橋4-4-8 〈担当者・吉田幸一〉  
TEL. 03-3239-1467 FAX. 03-3239-1466
- 塙書房 113-0033 文京区本郷6-8-16 〈担当者・榎 祐典〉  
TEL. 03-3812-5821 FAX. 03-3811-0617
- 法藏館 600-8153 京都市下京区正面烏丸東入 〈担当者・西村明高〉  
TEL. 075-343-5656 FAX. 075-371-0458
- 山川出版社 101-0047 千代田区内神田1-13-13 〈担当者・西田 智〉  
TEL. 03-3293-8132 FAX. 03-3292-2994
- 吉川弘文館 113-0033 文京区本郷7-2-8 〈担当者・横井真木雄〉  
TEL. 03-3813-9151 FAX. 03-3812-3544

2009年1月1日発行・第181号

発行 歴史書懇話会

〒113-0033 文京区本郷7-2-8 吉川弘文館内  
(非売品)

取扱店